ドライブ

ユーザ ガイド

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP 製品およびサービスに関する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

初版 2007 年 5 月

製品番号：440540-291

このガイドについて

このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。一部の機能は、お使いのコンピュータで対応していない場合もあります。

目次

1　インストールされているドライブの確認

コンピュータにインストールされているドライブを表示するには、**[スタート]**→**[コンピュータ]**の順に選択します。

注記：　コンピュータのセキュリティを強化するため、Windows®には、ユーザ アカウントの制御機能が含まれています。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行う時に、アクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。

2　ドライブの取り扱い

ドライブは壊れやすいコンピュータ部品ですので、取り扱いには注意が必要です。ドライブの取り扱いについては、以下の注意事項を参照してください。必要に応じて、追加の注意事項および関連手順を示します。

△ **注意：**　コンピュータやドライブの損傷、または情報の消失を防ぐため、以下の点に注意してください。

コンピュータや外付けハードドライブの電源を入れたままある場所から別の場所へ移動させるような場合は、必ず事前にスリープを開始して画面表示が消えるまでお待ちください。

ドライブを取り扱う前に、塗装されていない金属面に触れるなどして、静電気を放電してください。

リムーバブル ドライブまたはコンピュータのコネクタ ピンに触れないでください。

ドライブは慎重に取り扱い、絶対に落としたり上に物を置いたりしないでください。

ドライブの着脱を行う前に、コンピュータの電源を切ります。コンピュータの電源が切れているかハイバネーション状態なのか分からない場合は、まずコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

ドライブをドライブ ベイに挿入するときは、無理な力を加えないでください。

オプティカル ドライブ内のディスクへの書き込みが行われているときは、キーボードから入力したり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすいためです。

バッテリのみを電源として使用している場合は、メディアに書き込む前に、バッテリが十分に充電されていることを確認してください。

高温または多湿の場所にドライブを放置しないでください。

ドライブに洗剤などの液体を垂らさないでください。また、ドライブに直接、液体クリーナーなどを吹きかけないでください。

ドライブ ベイからのドライブの取り外し、ドライブの持ち運び、郵送、保管などを行う前に、ドライブからメディアを取り出してください。

ドライブを郵送するときは、発泡ビニール シートなどの緩衝材で適切に梱包し、梱包箱の表面に「コワレモノ—取り扱い注意」と明記してください。

ドライブを磁気に近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をチェックするベルト コンベアなどのセキュリティ装置は、磁気ではなく X 線を使ってチェックを行うので、ドライブには影響しません。

3 ハードドライブ パフォーマンスの向上

ディスク デフラグの使用

コンピュータを使用しているうちに、ハードドライブ上のファイルが断片化されてきます。ディスク デフラグを行うと、ハードドライブ上の断片化したファイルやフォルダを集めて効率的に実行できるようになります。

ディスク デフラグを実行するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[アクセサリ]**→**[システム ツール]**→**[ディスク デフラグ ツール]**の順に選択します。
2. **[今すぐ最適化]**をクリックします。

注記： コンピュータのセキュリティを強化するため、Windows には、ユーザ アカウントの制御機能が含まれています。アプリケーションのインストール、ユーティリティの実行、Windows の設定変更などを行う時に、アクセス権やパスワードの入力を求められる場合があります。詳しくは、Windows のヘルプを参照してください。

詳しくは、ディスク デフラグのヘルプを参照してください。

ディスク クリーンアップの使用

ディスク クリーンアップを行うと、ハードドライブ上の不要なファイルが検出され、それらのファイルが安全に削除されてディスクの空き領域が増し、コンピュータの実行効率が高くなります。

ディスク クリーンアップを実行するには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]**→**[すべてのプログラム]**→**[アクセサリ]**→**[システム ツール]**→**[ディスク クリーンアップ]**の順に選択します。
2. 画面に表示される説明に沿って操作します。

4　HP 3D DriveGuard の使用（一部のモデルのみ）

HP 3D DriveGuard は、次のどちらかの場合にドライブおよび入出力要求を停止することにより、ハードドライブを保護します。

- バッテリ電源で動作している時にコンピュータを落下させた場合
- バッテリ電源で動作している時にディスプレイを閉じた状態でコンピュータを移動した場合

これらの動作の実行後は HP 3D DriveGuard により、短時間でハードドライブが通常の動作に戻ります。

注記： オプションのドッキング デバイス内のハードドライブや USB ポートで接続されているハードドライブは、HP 3D DriveGuard では保護されません。

詳しくは、HP 3D DriveGuard のヘルプを参照してください。

HP 3D DriveGuard の状態の確認

コンピュータのドライブ ランプがオレンジ色に変化して、ドライブが停止していることを示します。モビリティ センターを使用して、ドライブが現在保護されているかどうか、およびドライブが停止しているかどうかを確認することができます。

- ソフトウェアが有効の場合、緑色のチェック マークがハードドライブ アイコンに重なって表示されます。
- ソフトウェアが無効の場合、赤色の X がハードドライブ アイコンに重なって表示されます。
- ドライブが停止している場合、黄色の月型マークがハードドライブ アイコンに重なって表示されます。

注記： モビリティセンターのアイコンは、ドライブの最新の状態を示していない場合があります。状態が変更されたらすぐに表示に反映されるようにするには、通知領域のアイコンを有効にする必要があります。

通知領域のアイコンを有効にするには、以下の手順で操作します。

1. **[スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP 3D DriveGuard]**の順に選択します。
2. **[Icon in System Tray]**（システム トレイのアイコン）で、**[Show]**（表示）をクリックします。
3. **[適用]**をクリックします。

HP 3D DriveGuard によりドライブが停止された場合、コンピュータは次の状態になります。

- シャットダウンができない
- 次に示す場合を除いて、スリープまたはハイバネーションを開始できない

  注記： HP 3D DriveGuard によりドライブが停止された場合でも、コンピュータがバッテリ電源で動作している時に完全なローバッテリ状態になると、ハイバネーションを開始できるようになります。

- [電源オプションのプロパティ]の[アラーム]タブで設定するバッテリ アラームを有効にできない

コンピュータを移動する前に、完全にシャットダウンさせるか、スリープまたはハイバネーションを開始することをおすすめします。

HP 3D DriveGuard ソフトウェアの使用

HP 3D DriveGuard ソフトウェアを使用することで、次のことが行えます。

- HP 3D DriveGuard の有効/無効を設定する。

注記： ユーザの権限によっては、HP 3D DriveGuard を有効または無効にできない場合があります。なお、Administrator グループのメンバは Administrator 以外のユーザの権限を変更できます。

- システムのドライブがサポートされているかどうかを確認する。

ソフトウェアを起動して設定を変更するには、以下の手順で操作します。

1. モビリティ センターでハードドライブ アイコンをクリックして、[HP 3D DriveGuard]ウィンドウを開きます。

   -または-

   [スタート]→[コントロール パネル]→[ハードウェアとサウンド]→[HP 3D DriveGuard]の順に選択します。

2. 適切なボタンをクリックして設定を変更します。
3. **[OK]**をクリックします。

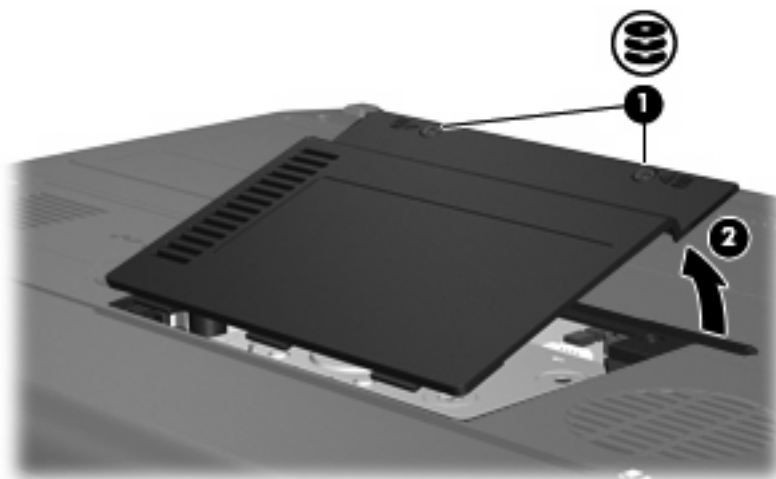
5 ハードドライブの交換

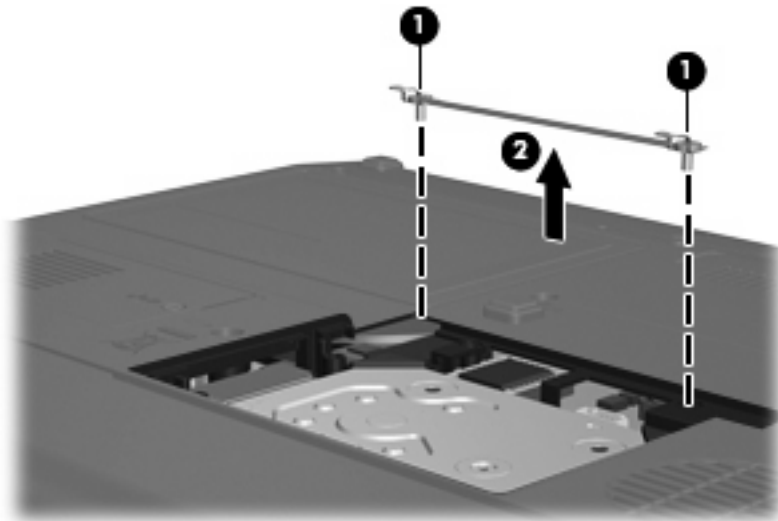
△ **注意：** 情報の損失やシステムが反応しなくなることを防ぐため、以下の注意を守ってください。

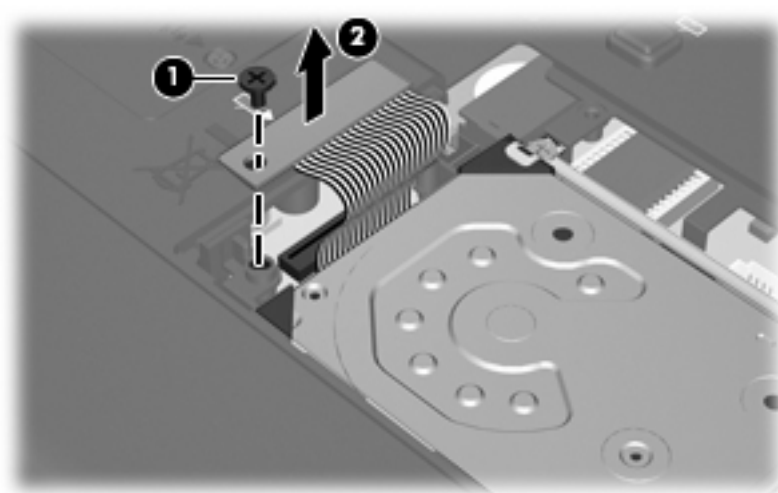
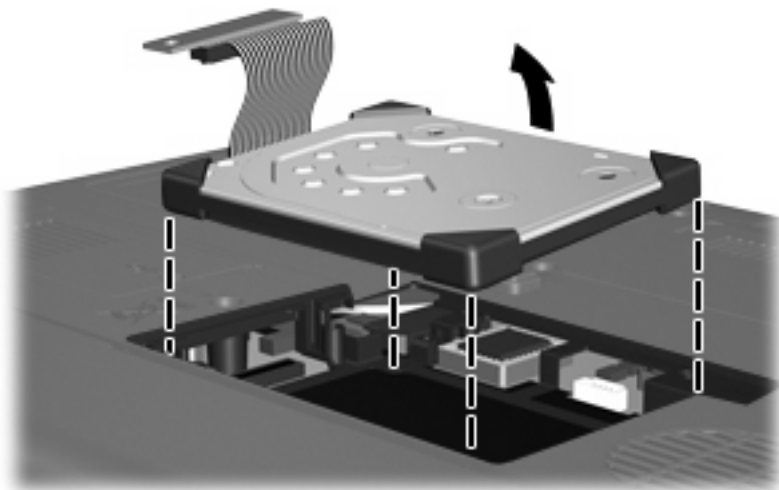
ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、コンピュータの電源を切ってください。コンピュータの電源が入っているときや、スリープまたはハイバネーションのときには、ハードドライブを取り外さないでください。

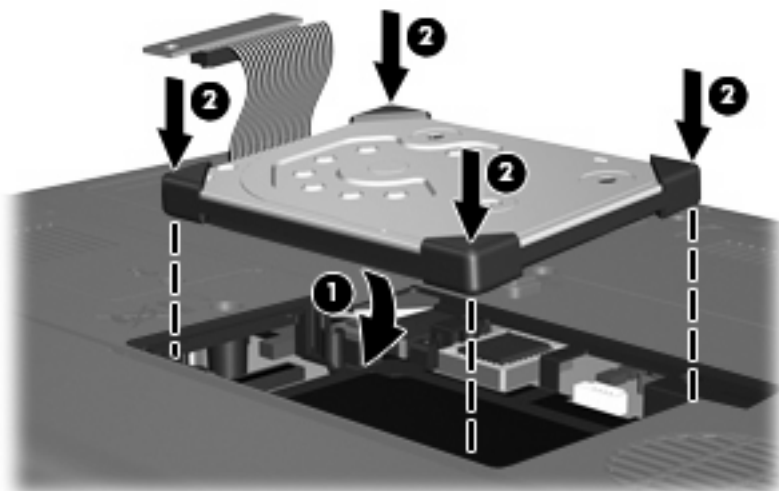
コンピュータの電源が切れているかハイバネーション状態なのか分からない場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れます。次に、オペレーティング システムの通常の手順でシャットダウンします。

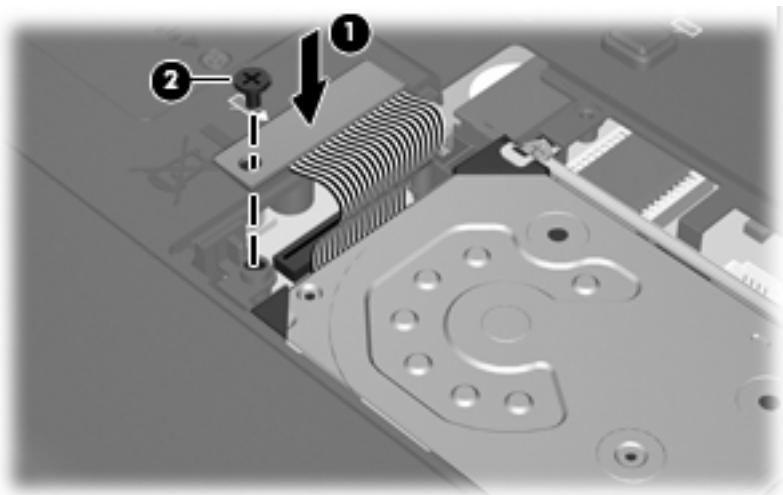
ハードドライブを取り外すには、以下の手順で操作します。

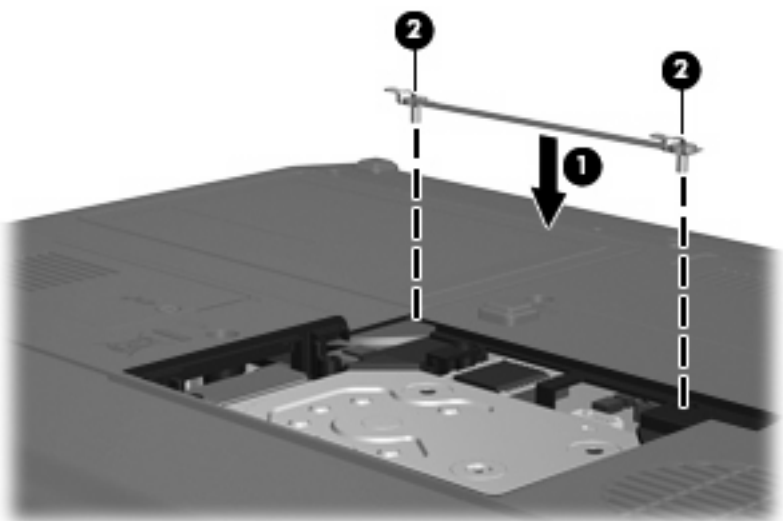
1. 必要なデータを保存します。
2. コンピュータの電源を切り、ディスプレイを閉じます。
3. コンピュータに接続されているすべての外付けハードウェア デバイスを取り外します。
4. 電源コンセントから電源コードを抜き、コンピュータの電源コネクタから AC アダプタを取り外します。
5. コンピュータのハードドライブ ベイが手前を向くようにしてコンピュータを裏返し、安定した平らな場所に置きます。
6. コンピュータからバッテリ パックを取り外します。
7. ハードドライブ カバーの 2 つのネジ（**1**）を緩めます。
8. ハードドライブ カバーを持ち上げて（**2**）、コンピュータから取り外します。

9. 2 つのハードドライブ固定ネジ（**1**）を緩めます。

10. ハードドライブを留めているブラケットを外します（**2**）。

11. ハードドライブのケーブル コネクタのネジ（**1**）を外します。

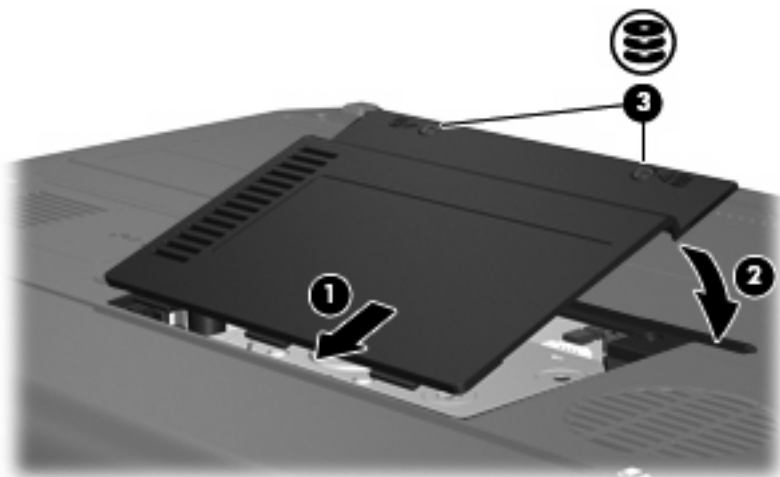
12. ハードドライブ ケーブルの端をゆっくり引いて、ハードドライブのケーブル コネクタからケーブルを外します（**2**）。

13. ハードドライブを持ち上げてハードドライブ ベイから取り外します。

ハードドライブを装着するには、以下の手順で操作します。

1. ハードドライブをハードドライブ ベイに挿入し（**1**）、ハードドライブが所定の位置に固定されるまで角のバンパーを押します（**2**）。

2. ハードドライブ ケーブルの端をハードドライブのケーブル コネクタの位置に合わせ、ハードドライブ ケーブルが確実にはまるまでゆっくり押し下げます（**1**）。

3. ハードドライブのケーブル コネクタのネジ（**2**）を元どおり取り付けます。

4. ハードドライブを留めているブラケットを元の位置に戻します（**1**）。

5. ハードドライブを留めているブラケットのネジ（**2**）を締めます。

6. ハードドライブ カバーのタブを、コンピュータのくぼみに合わせます（**1**）。

7. カバーを元に戻します（**2**）。

8. ハードドライブ カバーのネジ（**3**）を締めます。

6 オプティカル ドライブの使用

DVD-ROM などのオプティカル ドライブは、オプティカル ディスク（CD および DVD）をサポートします。これらのディスクでは、情報を保管または移動したり、動画や音楽を再生したりします。DVD の方が、CD より大きい記憶容量を扱うことができます。

次の表に示すように、すべてのオプティカル ドライブでオプティカル メディアからの読み取りが可能で、モデルによっては書き込みも可能です。

オプティカル ドライブの種類	CD および DVD-ROM メディアからの読み取り	CD-RW メディアへの書き込み	DVD±RW/R メディアへの書き込み	DVD+RW DL メディアへの書き込み	LightScribe CD または DVD ±RW/R へのラベルの書き込み	DVD-RAM メディアへの書き込み
DVD-ROM ドライブ	可	不可	不可	不可	不可	不可
DVD±RW/CD-RW マルチ ドライブ	可	可	可	不可	不可	不可
DVD±RW/CD-RW マルチ ドライブ（2 層記録対応）	可	可	可	不可	不可	可
LightScribe DVD±RW/CD-RW マルチ ドライブ（2 層記録対応）	可	可	可	不可	可	可

注記： ここに示すオプティカル ドライブによっては、コンピュータでサポートされていない場合もあります。サポートされているオプティカル ドライブが上記の一覧に記載されていない場合があります。

△ **注意：** オーディオやビデオの劣化または再生機能の損失を防ぐため、CD や DVD の読み取りまたは書き込みをしているときにスリープまたはハイバネーションを開始しないでください。

情報の損失を防ぐため、CD や DVD への書き込み時にスリープまたはハイバネーションを開始しないでください。

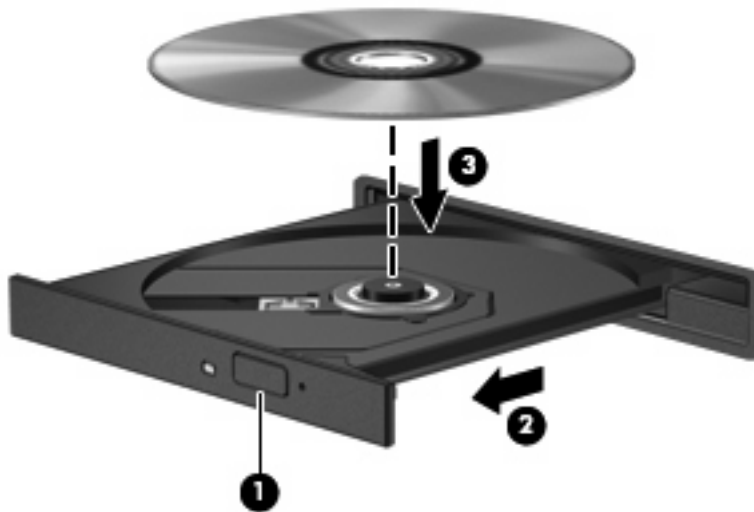
ディスクの再生中にスリープまたはハイバネーションを開始した場合、次のことが発生します。

- 再生が中断される場合があります。
- 続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。
- CD または DVD を再び起動して、オーディオまたはビデオの再生を再開しなければならない場合があります。

オプティカル ディスクの挿入

1. コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してメディア トレイを開きます。
3. トレイを引き出します（**2**）。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸上に置きます。

   注記：　トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて回転軸の上に置いてください。

5. ディスクが確実にはまるまで、トレイの回転軸上にディスクをゆっくり押し下げます（**3**）。

6. メディア トレイを閉じます。

注記：　ディスクを挿入した後、プレーヤの起動まで少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。初期設定のメディア プレーヤを選択していない場合は、[自動再生]ダイアログ ボックスが開き、メディア コンテンツの使用方法を選択するように要求されます。

バッテリ電源または外部電源使用時のオプティカル ディスクの取り出し

1. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してメディア トレイを開き、トレイをゆっくり完全に引き出します（**2**）。
2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。

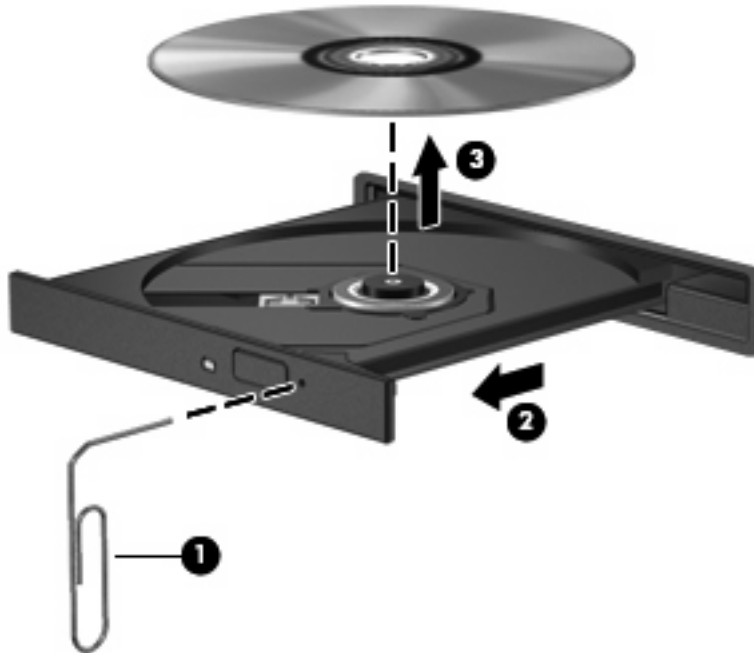
3. メディア トレイを閉じて、ディスクを保護ケースに入れます。

電源切断時のオプティカル ディスクの取り出し

1. ドライブのフロント パネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ（**1**）の端を差し込みます。

2. クリップをゆっくり押し込み、トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します（**2**）。

3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出します。

4. メディア トレイを閉じて、ディスクを保護ケースに入れます。

7　外付けドライブの使用

着脱可能な外付けドライブに情報を保存し、保存した情報にアクセスすることができます。

USB ドライブを追加するには、コンピュータまたは別売のドッキング デバイス（一部のモデルのみ）の USB ポートに接続します。

外付けマルチベイまたはマルチベイ II は、以下を含むマルチベイまたはマルチベイ II デバイスをサポートします。

- 1.44MB フロッピーディスク ドライブ
- ハードドライブ モジュール（アダプタを装着したハードドライブ）
- DVD-ROM ドライブ
- DVD/CD-RW コンボ ドライブ
- DVD+RW/R および CD-RW コンボ ドライブ
- DVD±RW/R および CD-RW コンボ ドライブ

別売の外付けデバイスの使用

注記： 必要なソフトウェアおよびドライバ、またコンピュータのどのポートを使用するかについては、お使いになる外付けデバイスに付属の説明書等を参照してください。

外付けデバイスをコンピュータに接続するには、以下の手順で操作します。

注意： 電源付きデバイスの接続時に装置が損傷することを防ぐため、デバイスの電源が切れ、AC 電源コードが抜けていることを確認してください。

1. デバイスをコンピュータに接続します。
2. 電源付きデバイスを接続する場合は、接地した AC コンセントにデバイスの電源コードを差し込みます。
3. デバイスの電源を入れます。

電源なし外部デバイスを取り外すには、デバイスの電源を切った後、コンピュータからデバイスを取り外します。電源付き外部デバイスを取り外すには、デバイスの電源を切った後にコンピュータからデバイスを取り外し、電源コードを抜きます。

別売の外付けマルチベイまたは外付けマルチベイ II の使用

外付けマルチベイまたはマルチベイ II をコンピュータの USB ポートに接続して、マルチベイおよびマルチベイ II デバイスを使用できます。

外付けマルチベイについて詳しくは、デバイスに付属の説明書等を参照してください。

索引